

# 獨協医科大学看護学部紀要投稿規程

1. 紀要に寄稿できる者は、次の各号のいずれかに該当する者とする。
  - 1) 本学の専任教員，特任教授及び非常勤教員。
  - 2) 研究推進委員会（以下「委員会」という。）が認めた者。
2. 著作権  
掲載後全ての論文等の著作権は獨協医科大学に帰属する。  
なお，委員会より提示される誓約書に著者全員が自筆署名捺印し，研究推進委員長宛に提出するものとする。  
また，他者の著作権に帰属する資料を引用する際には，著者がその許可申請手続きを行う。
3. 二重投稿・重複投稿の禁止  
投稿論文の内容は，他の出版物（国の内外を問わず）にすでに発表あるいは投稿されていないものに限る。
4. 原稿の種類  
本誌に掲載する論文の種類は，総説，原著，研究報告，資料，その他とし，その内容が他誌に投稿中又は掲載されていないものに限る。
  - 1) 総説：ある特定の領域・分野について，先行研究の論文をもとに，歴史から現在まで，その領域・分野のポイント，今後の展望を関連する領域・分野を含めて幅広く解説したもの。その領域・分野のオピニオンリーダーが執筆投稿するのが望ましい。依頼原稿を原則とする。和文の場合，英文抄録（自由形式 300 語以内）を添付する。
  - 2) 原著：研究に関する論文で，独創的な内容及び新たな事実や科学的な観察で未発表なもの。
  - 3) 研究報告：原著には及ばないが，研究として意義があり，発表の価値が認められる論文（フィールドレポートなど事例報告や症例報告を含む）。
  - 4) 資料：1) から 3) に該当しない学術上有用な資料。総説には該当しないが研究論文の総括，文献などについてまとめたもの（文献研究）。
  - 5) その他：編集委員会からの依頼原稿など
5. 倫理的配慮  
人及び動物が対象である研究は，倫理的に配慮され，その旨が本文中に明記されていること。主たる研究者の所属施設の倫理委員会の承認を受け，承認番号を明記すること。
6. 投稿要領
  - 1) 論文の構成  
投稿原稿の構成は原則として表 1 のとおりとする。
  - 2) 原稿の様式
    - (1) 総説，原著，研究報告，資料は，20 枚以内（図，表，写真を含む）とする。原稿は，和文又は英文とする。和文の場合は，明朝体で，A4 版用紙 1 枚につき 40 字×40 行（1,600 字）で印字する。英文の場合は，A4 版横書きでダブルスペース，Times New Roman で，12 ポイントフォント，5,000 ワード以内とする。
    - (2) 和文原稿は，原則として現代かなづかい，当用漢字を用いる。外国の人名，地名，熟語は英字にて表記する。英字・数字は半角文字を使用し，それ以外は全角とする。単位及び単位記号は，原則として国際単位制度に従うものとする。読点は「，（コンマ）」，句点は「．（ピリオド）」とする。

- (3) 原稿は、表紙（表題、著者名、所属（それぞれに英訳をつける）、代表著者の連絡先）、本文、文献、図、表、写真の順に作成する。
- (4) 本文が和文の場合には、800字以内の要旨をつける。ただし、原著で投稿の際は300語以内の英文要旨も添える。本文が英文の場合は300語以内の英文要旨をつける。なお、英文は著者の責任において専門家の校閲を受け、証明書を提出する。
- (5) すべての論文に、5語以内のキーワードをつける。
- 3) 図表の掲載
- (1) 最終原稿の図表・写真の裏に番号、論文名、著者名を鉛筆書きする。番号は図1、表1、Fig.1、Table1等とする。表のタイトルは表本体の上に、図のタイトルは図本体の直下に、どちらも左詰めに配置する。
- (2) 図表は、A4版1枚に1図表とし、原稿400字に換算する。必ず原図をつけ、コピーは不可とする。
- (3) 表題、内容、説明は本文と同じ言語を用いる。
- (4) 原稿には、図表の入るべき位置を指定する。
- (5) 整数部分が0で理論的に1を超えない数値は、小数点以下だけを表示し、縦に揃える場合は小数点の位置で揃える。
- (6) 表において、縦罫線の使用は極力避ける。
7. 原稿の提出
- 1) 原稿は所定の申込書（誓約書ならびに同意書、投稿論文チェックリスト）を添え、委員会に提出するものとする。
- 2) 原稿は正1部、副として正のコピー2部の計3部を提出する。査読用の副2部には著者名と所属は記入しない。
8. 論文の採否
- 査読者の意見をもとに編集委員会で審議のうえ、論文の種類を含め採否を委員会で決定する。査読者は委員会が依頼する。
9. 編集
- 論文の掲載順序その他編集に関することは、委員会が行う。
10. 校正
- 校正は三校までとし、初校、二校は著者校正とする。著者校正は字句の訂正に留め

表1 投稿原稿の構成

項目	内容、その他留意事項
和文要旨	目的・方法・結果・結論に分け、各見出しを付けて記載する
英文要旨 (Abstract)	総説、原著論文に対して記す
キーワード	5個以内
I. 諸言	研究の背景・目的
II. 研究方法	研究・調査・実験・解析に関する手法の記述および資料・材料の集め方
III. 研究結果	研究等の結果、成績
IV. 考察	結果の考察・評価
V. 結語	結論、明らかになったことを簡潔に記す。省略可
謝辞	研究助成がある場合などは明示する。省略可
文献	文献の表記は11に従う

注：「原著」「研究報告」については上記I～Vのような見出しを付ける。他の原稿については、同様またはそれに準ずる適切な見出しを付ける。

るものとする。

## 11. 文献の記載

引用形式は原則的に米国心理学会 (American Psychological Association, APA) が発行している『Publication Manual of the American Psychological Association, 6th ed.』(2010), 『APA 論文作成マニュアル第2版』(2011, 医学書院) に準拠する。

文献管理ツール Refworks<sup>®</sup> の文献引用スタイル「獨協医科大学看護学部紀要」を使用することを推奨する。

### 1) 本文中の引用

(1) 本文中には著者・発行年方式を用いて記載する。

・著者が本文の一部として現れる場合は、カッコ内に発行年だけを表記する。

例：山田 (2005) によると…

そうでない場合には、著者名と発行年をコンマで区切ってカッコの中に並べる。

例：(山田, 2005)

・2名の著者の場合は、すべての引用箇所にも2名の著者名を「,」「& (欧文の場合)」で区切り表記する。例：(山田, 秋元, 2010)

・3～5名の著者の場合は、初出の箇所でも全員を列挙し、再引用時は筆頭著者に「ら」「et al. (欧文の場合)」を付す。

・6名以上の著者の場合は、初出、再引用に関わらず、筆頭著者+「ら」「et al. (欧文の場合)」とする。例：(小栗ら, 2015)

(2) 同一著者が同じ年に出版した複数の著作物を使用する場合は、タイトルのアルファベット順に、年号のあとに小文字のアルファベット (a, b, c) で示す。

例：(山田, 2018a)

(3) 異なる著者の文献を同一箇所でも引用する際は、筆頭著者のアルファベット順に「;」で区切り表示する。例：(秋田,

2018; 山田, 2010)

(4) 出典の一部を引用して本文中に記載する場合は、「(著者名, 発行年, ページ)」を示す。

例：(山田, 2010, p.10-11)

ページの記載は「p. ○」の他、「第○章」「第○段落」としてもよい。

### 2) 本文末の文献リスト

引用した文献の書誌情報を筆頭著者名のフルネームをアルファベット順 (ヘボン式ローマ字) の一覧として表示する。学術誌名を省略する場合は、原則として、日本語文献は医学中央雑誌略名表に、欧文文献は Index Medicus にそれぞれ従う。学術誌や書籍タイトルはイタリック (斜字体) にはしない。リストはぶら下げインデント (2行目以降は全角1文字分下げする) で記載する。

#### (1) 学術誌掲載論文の場合

著者名. (出版年). 論文タイトル. 掲載誌名, 巻(号), 開始ページ-終了ページ.

例：

獨協太郎, 壬生良子. (2008). がん患者のための疼痛コントロールの現状とその方法. ヒューマンケア学会雑誌, 3 (2), 22-31.

Human N, Shinden T, et al. (2009). Effects of radiotherapy on olfactory function, *Radiother Oncol*, 77 (2), 157-163.

著者が8名以上の場合は6名までを表記した後、省略記号… (ピリオドと半角スペースを3回くりかえしたもの) とともに、最終著者を記載する。

オンライン版で DOI のある場合の書式

著者名. (出版年). 論文タイトル. 掲載誌名, 巻(号), 開始ページ-終了ページ. doi: 番号

オンライン版で DOI のない場合の書式

著者名. (出版年). 論文タイトル. 掲載誌名, 巻(号), 開始ページ-終了ページ. URL

オンライン出典でも DOI や機関リポジトリなどは検索日を記載しない。

(2) 書籍の場合

① 書籍の基本

著者名. (出版年). 書籍タイトル (pp. 開始ページ-終了ページ). 発行元.  
(引用が要約引用や複数個所の引用の場合はページ数の記載は不要.)

② 編集本 (章著者表示なし)

編者名 (編). (出版年). 書籍タイトル (第○版) (pp. 開始ページ-終了ページ). 発行元.

③ 編集本 (章著者表示あり)

章著者名. (出版年). 章タイトル. 編者名 (編). 書籍タイトル (第○版) (pp. 開始ページ-終了ページ). 発行元.

④ 翻訳本

原著者名. (原書出版年 / 翻訳書出版年). 翻訳者名 (訳). 翻訳書タイトル (第○版). 発行元.

(3) Web サイトの場合

著者名. (投稿・掲載の年月日). web ページの題名. web サイトの名称. URL (参照○年○月○日)

投稿・掲載日が不明のものは n.d. と記す.

更新が前提となっているものに関しては検索日を記載する.

なお, 文献研究で検討した文献を本文中の図表中に記載するときにもこの記載形式に従う.

12. 最終原稿の提出

採択された最終原稿は USB メモリにより提出する.

附則

この規程は, 平成 20 年 1 月 24 日から施行する.

この規程の改正は, 平成 23 年 11 月 17 日から施行する.

この規程の改正は, 平成 24 年 10 月 11 日から施行する.

この規程の改正は, 平成 26 年 10 月 15 日から施行する.

この規程の改正は, 平成 30 年 4 月 1 日から施行する.

この規程の改正は, 令和 2 年 4 月 1 日から施行する.

この規程の改正は, 令和 3 年 12 月 1 日から施行する.